

春播きトウモロコシ「NS110」の本県における品種特性

「NS110」は、多収性、耐倒伏性および耐病性に優れ、本県におけるトウモロコシ品種として有望である。

農業研究センター畜産研究所飼料研究室 (担当者: 中村寿男)

研究のねらい

熊本県における飼料用トウモロコシについて、新たな優良品種の早急な普及を図るため、数年以内に市販開始予定の新品種を中心に収量性やその他の諸特性について調査し、本県の奨励品種である「セシリア」を比較品種として、これと同等以上の能力を有する品種を選定する。

研究の成果

1. 「NS110」の播種から収穫適期までの日数は、比較品種と同時期で、4月上旬に播種した場合、7月下旬から8月上旬に収穫できる(表1)。
2. 「NS110」の稈長は、比較品種より高く、稈長に対する着雌穂高割合が低い(表2)。
3. 「NS110」の耐倒伏性および病虫害への抵抗性は、比較品種と同程である(表3)。
4. 「NS110」は、比較品種と同等の乾物収量が期待できることから本県における飼料用トウモロコシ品種として有望である(図1)。

普及上の留意点

1. 生育状況および収量については気象・土壌環境の変化による影響を受けるため、施肥管理や適正な時期における播種を徹底すること。

表1 供試品種の概要

	相対熟度 (RM)	系統名	品種名	育種・種子取扱	摘要
供試品種	110	KE0604	NS110	カネコ	
比較品種	115		セシリア	パイオニア	H9奨励品種指定

表2 生育特性に関する調査結果

品種名	相対熟度	播種から収穫 適期までの日数	初期生育	稈長	着雌穂高	着雌穂高 ／稈長
		日	極不良1～極良9	cm	cm	%
NS110	110	115.3	7.2	274.5	127.2	46.3
セシリア	115	117.0	6.9	257.1	133.9	52.0
t検定		ns	ns	*	ns	*

- 1) 播種期は、2012年4月7日、2013年4月5日および2014年4月14日
- 2) 数値は調査年(2012年、2013年、2014年)の平均
- 3) 施肥量は、N:1.5kg/a、P₂O₅:1.5kg/a、K₂O:1.5kg/a。
- 4) *はp<0.05で有意差あり
- 5) 収量調査は、黄熟期を目安に実施した。

表3 病害抵抗性に関する調査結果

品種名	倒伏	折損	虫害	ごま葉 枯病	紋枯病 罹病率
	%	%	%	無1～甚9	%
NS110	0.0	0.9	1.0	1.3	14.0
セシリア	0.0	1.1	1.2	2.3	5.8

- 1) 数値は調査年(2012年、2013年、2014年)の平均
- 2) いずれも「セシリア」との間に有意差は認められない。

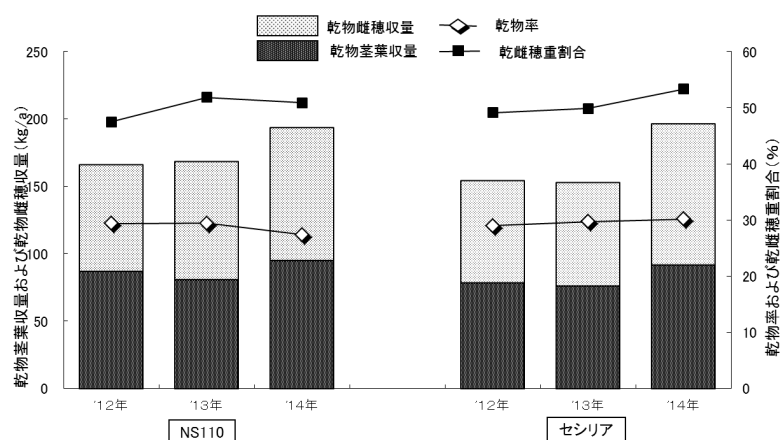


図1 品種ごとの3か年の乾物茎葉収量・乾物雌穂収量
乾物率及び乾物雌穂割合